【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護学概論	１（３０）	２	第２学期	①佐藤　泰子 ②矢木　康寛

目　　標

精神保健、こころの健康について理解し、精神看護の概念及び精神障害者問題の社会的背景を理解し、精神看護において看護職が担う機能と役割について理解する。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．精神保健の考え方（１）　※　精神障害とは（１）から左記へ	講義	担当者① 15時間
2	2	１．精神保健の考え方（２）　※　精神障害とは（２）から左記へ	講義	①
3	2	２．心の動きと人格の形成（１）　※　発達心理（１）から左記へ	講義	①
4	2	２．心の動きと人格の形成（２）　※　発達心理（２）から左記へ	講義	①
5	2	３．精神保健医療福祉の変遷と法や施策（１）　※　日本の精神医療史 １）精神医療の歴史・沿革　（１・２）から左記へ ①精神障害と治療の歴史　②日本における精神医学・精神医療	講義	①
6	2	３．精神保健医療福祉の変遷と法や施策（１）　※　日本の精神医療史 １）精神医療の歴史・沿革　（１・２）から左記へ ③精神障害と文化　④精神障害と社会学	講義	①
7	2	３．精神保健医療福祉の変遷と法や施策（２） ２）精神障害と法制度 ①障害者基本法　②自殺対策基本法　③障害者虐待防止法 ④障害者総合支援法	講義	①
8	2	３．精神保健医療福祉の変遷と法や施策（３） ２）精神障害と法制度 ⑤精神保健福祉法 ・改革ビジョン ・患者の権利擁護（当事者の自己決定の尊重、基本的な処遇、精神医療審査会、行動制限：隔離・身体拘束・入院形態） ⑥医療観察法	講義	担当者② 15時間
9	2	４．精神看護の概念 １）精神看護の位置づけ　２）精神看護の目的と意義 ３）精神看護における対象理解と支援のための概念 （＊精神看護に必要な理論）	講義	②
10	2	５．精神の健康の概念 １）精神の健康の定義　２）精神の機能と発達	講義	②
11	2	６．ライフサイクルと危機的状況 １）危機の概念　２）危機の予防　３）危機介入　４）ストレスと対処	講義	②
12	2	７．臨床における心の健康状態 １）患者と家族の心の健康　２）看護師のメンタルヘルスケア	講義	②
13	2	８．リエゾン精神看護	講義	②
14	2	９．地域の精神保健活動：社会復帰施設 １）社会資源の活用とマネジメント　２）他職種連携と看護の役割	講義	②
15	1	１０．災害時の精神保健医療活動 １）精神保健に関する初期対応　２）精神障害者への治療継続	講義	②
16	1	終講試験		①

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	精神看護学（１）　精神看護の基礎　：医学書院 精神看護学（２）　精神看護の展開　：医学書院 死生の臨床人間学−「死」からはじまる「生」　：　晃洋書房
その他	

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神臨床総論	１（３０）	２	第２学期	①須賀　英道 ②音揃　望

目　　標

主な精神障害の病態、症状、治療、検査等について学び、精神障害のある対象を理解する。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．精神症状の理解　　※　精神症状および精神疾患の理解から左記へ １）精神症状の理解 ①思考の障害　②感情の障害　③意欲の障害　④知覚の障害 ⑤意識の障害　⑥記憶の障害　⑦局所症状 ２）検査　①脳波検査　②知能検査　③心理検査　④記銘力検査 ３）治療　①薬物療法　②精神療法　③生活療法　④電気けいれん療法	講義	担当者① 15時間
2	2	２．主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（１）　※　主な疾患の理解と １）気分（感情）障害　検査・治療の理解（１～６）から左記へ	講義	①
3	2	２．主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（２） ２）神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	講義	①
4	2	２．主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（３） ３）生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	講義	①
5	2	２．主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（４） ４）統合失調症	講義	①
6	2	２．主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（５） ５）心理的発達の障害　６）小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害 ７）性同一性障害　８）パーソナリティ障害	講義	①
7	2	２．主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（６） ９）習慣および衝動の障害　１０）物質関連障害	講義	①
8	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（１） １）患者の特徴　２）精神看護の役割 ３）精神に障害をもつ対象の日常生活援助	講義	担当者② 15時間
9	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（２）　※主な疾患の看護（１～６）から左記へ １）統合失調症の患者の看護　※各項目には症状、臨床・心理検査、薬物療法を含む	講義	②
10	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（３）　※主な疾患の看護（１～６）から左記へ ２）気分（感情）障害の患者の看護	講義	②
11	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（４）　※主な疾患の看護（１～６）から左記へ ３）神経症性障害、ストレス関連障害の患者の看護	講義	②
12	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（５）　※主な疾患の看護（１～６）から左記へ ４）物質関連障害の患者の看護	講義	②
13	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（６）　※主な疾患の看護（１～６）から左記へ ５）各発達段階であらわれやすい精神障害・心的不調の患者の看護①	講義	②
14	2	３．精神に障害をもつ対象の看護（７）　※主な疾患の看護（１～６）から左記へ ５）各発達段階であらわれやすい精神障害・心的不調の患者の看護② ６）性同一性障害の患者の看護	講義	②
15	1	３．精神に障害をもつ対象の看護（８） ７）医療観察法の看護		②
16	1	終講試験		①

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	精神看護学（１）精神看護の基礎　：医学書院 精神看護学（２）精神看護の展開　：医学書院
その他	

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護援助論Ⅰ	１（１５）	３	第１学期	①池田　宏太 ②飯塚　三枝子

目　　標
精神に障害のある対象の看護の実際を理解する。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．援助関係の構築（１） １）交流分析による自己分析　　２）自己分析結果の活用	講義	担当者① 13時間
2	2	１．援助関係の構築（２） ３）コミュニケーション技術　　４）精神看護における患者－看護師関係	講義	①
3	2	１．援助関係の構築（２） ５）プロセスレコードの意義と活用	講義	①
4	2	２．事例によるプロセスレコードの分析（１） １）精神症状のある事例	講義・演習	①
5	2	２．事例によるプロセスレコードの分析（２） ２）慢性に経過する対象の事例①	講義・演習	①
6	2	２．事例によるプロセスレコードの分析（３） ３）慢性に経過する対象の事例②	講義・演習	①
7	2	２．心のケアを必要とする対象への治療的介入 １）音楽療法 ①目的 ②音楽療法士の役割と実際の活動	講義	担当者② 2時間
8	1	終講試験（筆記試験）		①

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	精神看護学（１）精神看護の基礎　：医学書院 精神看護学（２）精神看護の展開　：医学書院 自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード　：　日総研
その他	

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護援助論Ⅱ	１（３０）	３	第１・２学期	小山田　圭吾

目　　標
心のケアを必要とする対象の自立支援施設、在宅への支援について理解する。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．気分障害患者の看護（１）（事例展開） １）対象の理解（アセスメント）　　２）看護問題の抽出	講義・演習	
2	2	気分障害患者の看護（２） ３）看護計画の立案	演習	
3	2	気分障害患者の看護（３） ４）援助の実際	演習	
4	2	２．統合失調症患者の看護（１）（事例展開） １）対象の理解（アセスメント）　　２）看護問題の抽出	講義・演習	
5	2	統合失調症患者の看護（２） ３）看護計画の立案（治療と援助）	演習	
6	2	統合失調症患者の看護（３） ４）看護計画の立案（セルフケアへの援助）	演習	
7	2	統合失調症患者の看護（４） ５）看護計画の立案（社会復帰に向けた援助）	演習	
8	2	３．精神看護における安全管理（１） １）病棟環境の整備と行動制限	講義	
9	2	精神看護における安全管理（２） ２）自殺、自殺企図、自傷行為への対応	講義	
10	2	精神看護における安全管理（３） ３）攻撃的行動、暴力予防プログラム（ＣＶＰＰＰ）	講義 演習	
11	2	精神看護における安全管理（３） ４）災害時の精神科病棟の安全の確保	講義	
12	2	４．社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 １）医療に関わる社会資源（精神科デイケア、精神科ナイトケア、精神科訪問看護、行政との連携）	講義	
13	2	社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 ２）生活を支える社会資源（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、地域活動支援センター、グループホーム、福祉ホーム、居宅介護と同行援護、短期入所、移動支援）	講義	
14	2	社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 ３）当事者の力を高める援助（セルフヘルプグループ、家族会）	講義	
15	1	社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 ４）多職種連携と看護の役割	講義	
16	1	終講試験		

授業形態	講義および演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	精神看護学（１）精神看護の基礎　：医学書院 精神看護学（２）精神看護の展開　：医学書院
その他	事例を活用し具体的に学ぶ